

YWCA

非暴力週間

2017

ツールキット(抜粋版)



WorldYWCA

抜粋非暴力週間について

YWCA 非暴力週間は、女性や少女に対する暴力の撤廃を目指して毎年行われる、世界的なキャンペーンです。この1週間では、コミュニティで起こる暴力を終わらせるために、個人・グループが意識を向上させ、考え方を変革し、そしてアクションを起こすことに焦点が置かれます。毎年10月の3週目に、世界中のYWCAが非暴力週間、つまり、暴力のない世界をつくるために多様なアプローチをもって、コミュニティでさまざまなイベントを行う1週間を持ちます。YWCA 非暴力週間は暴力のない世界に向けて、コミュニティに考え、行動するよう呼びかけます。

世界 YWCA ウェブサイト: www.worldywca.org

ハッシュタグ: #WWV17 #youngwomenrise #RiseUp

世界 YWCA フェイスブック: <https://www.facebook.com/worldywca>

世界 YWCA ツイッター: <https://twitter.com/worldywca?lang=en>

世界 YWCA インスタグラム: <https://www.instagram.com/worldywca/>

オンライン上ツール: http://www.worldywca.org/ywca_news/es/ywca-week-without-violence-16-to-22-october-2017/

非暴力週間のメッセージ

● 短バージョン

必要に応じて、プレスリリースなどにお使いください。

「女性に対する暴力は世界中に広がっています。未だに3人に1人の女性が親密な関係にあるパートナーからの身体的または性的暴力を経験し、世界中で少なくとも1億2000万人の少女が人生のある時期に性行為を強要されています。」

● 長バージョン

アドボカシーや声明文、メディアへの掲載など、女性に対する暴力の問題について明確に説明したい時にお使いください。

- ・ 2015年、パートナーや親族によって殺害された人の3人に1人は、女性でした。
- ・ 26億の女性と少女が、夫婦間のレイプが違法とされていない国で生活しています。
- ・ 欧州における移民・難民危機が生じて以来、移住する女性と子どもの数は成人男性の数を上回っています。国連難民高等弁務官 (UNHCR) や国連人口基金 (UNFPA)、女性難民委員会 (Women's Refugee Commission) は、女性と少女が性暴力を含む、あらゆる形態の暴力に晒されるリスクを負っていると述べています。
- ・ EU では45~55%の女性がセクシャル・ハラスメントを経験したことがあります。
- ・ 世界中で7億人を超える少女が18歳になる前に結婚しています。その内、3人に1人以上の女性(2億5000万)は15歳になる前に結婚しています。
- ・ 幼くして結婚した少女はセーフターセックス(望まない妊娠や性病の感染リスクを下げるように配慮した性行為)の交渉をし難いことがしばしばあり、それにより HIV などの性感染症に感染したり、幼くして妊娠することがあります。
- ・ 現在のレベルで児童婚が行われると、1年間に1420万人、あるいは1日に3万9000人の少女が若すぎる年齢で結婚させられることとなります。
- ・ 世界的に見て、約3人に1人(35%)の女性が生涯の内に身体的、あるいは性的な暴力を受けています。

- ・ 強制労働に従事している 2100 万人の内、450 万人の人々は性的搾取の被害者でもあります。その内、98%が女性と子どもです。

詳細は:

<http://www.un.org/youthenvoy/2013/09/child-marriages-39000-every-day-more-than-140-million-girls-will-marry-between-2011-and-2020/>

<https://www.rcog.org.uk/en/news/rcog-statement-16-days-of-activism-against-gender-based-violence/>

● 背景情報

・ 児童婚

世界中に 12 億人いる少女の内、2200 万人は既に結婚しており、更に何億人もの少女がそのリスクに置かれています。今日生存している 7 億人以上の女性が 18 歳の誕生日を迎える前に、そして、約 2 億 5000 万人が 15 歳になる前に結婚しています。少年も児童婚の影響を受けますが、少女は比較にならないほど甚大な影響を受けます。ナイジェリアとモーリタニアでは、15~19 歳までの若い女性の半数以上が 10 歳以上年の離れた男性と結婚しています。幼くして結婚した少女の約半数が南アジア、特に 3 人に 1 人がインドで生活しています。彼女たちからは幼少期がはく奪され、教育と雇用への機会を大きく損失します。更に、ドメスティック・バイオレンスの被害を受けやすく、セーフターセックス(望まない妊娠や性病の感染リスクを下げるように配慮した性行為)の交渉をし難いことがしばしばあり、それにより性感染症に感染したり、幼くして妊娠することがあります。2015 年、国際社会は 2030 年までに児童婚や強制結婚、女性性器切除などの危険な慣習を撤廃することを含んだ開発目標を打ち立てました。(Unicef, 2014)

詳細は: www.girlsnotbrides.org

・ 女性性器切除(FGM)

女性性器切除とは世界中の女性と少女に影響を及ぼす人権の侵害行為です。女性性器切除を受けた女性や少女の正確な数は分かりませんが、少なくとも 2 億人の女性や少女が被害にあっていることが推定されます。その 2 億人の内、4400 万人が 15 歳以下の少女です。そのような慣習を撤廃することは、世界的に取り組むべき問題です。2012 年の国連総会では、この慣習を根絶するため、努力の集結を呼びかけるよう決議し、2015 年、国際社会は 2030 年までに児童婚や強制結婚、女性性器切除などの危険な慣習を撤廃することを含んだ開発目標を打ち立てました。(Unicef, 2016)

詳細は: <http://www.unfpa.org/female-genital-mutilation>

・ 女性と少女に対する暴力

女性と少女に対する暴力は人権の重大な侵害です。被害に遭った方の身体および精神的な状態は直ちに、また長年に渡って影響を受けます。性暴力は被害に遭った女性や少女だけでなく、その家族やコミュニティにも甚大な影響を及ぼします。DV や性暴力防止法を整備する国の数は増えているものの、法の実行という課題が残ります。暴力を防止するために十分な対策が取られているわけではなく、ほとんどの場合で処罰されずにいるのです。(UN Women, 2016)

詳細は: <https://www.wewillspeakout.org/>

・ 女性と少女に対するサイバー暴力

スピーディーな通信技術が誕生したことや、インターネットやソーシャル・メディアが広まったことによって、新しい形の暴力、女性と少女に対するサイバー暴力が生まれています。これは世界中で拡大している問題で、若い女性と少女の身体的・精神的な健康に重大な影響を及ぼす恐れがあります。

世界保健機関(WHO)の研究によると、3 人に 1 人の女性は一生の内に暴力を受けており、さらにインターネットを

介して繋がる現象は比較的新しいことであるにもかかわらず、既に 10 人に 1 人の女性が 15 歳に達するまでにサイバー暴力を受けているとの結果を示しています。

欧州では、10 人に 1 人の女性が 15 歳までにサイバー暴力を受けています（卑猥なメッセージを送ることや、SNS 上でナンパを含みます）。このリスクは 18～29 歳までの若い女性の間で最も高くなります。3 人に 1 人の若い女性（18～29 歳）がネット上でいじめを受けているのです。

インターネットへのアクセスがあることは重要で、ますます基本的な人権として見なされるようになっていきます。そのため、このデジタルな公的領域が、若い女性と少女を含む全ての人にとって安全で、開かれていて、かつエンパワーされる場であることを確実にしていくことが大事でしょう。

詳細は：http://www.worldywca.org/wp-content/uploads/2017/10/cyber_violence_against_women_and_girls.pdf

自身や周りの友人をサイバー暴力から守る方法は：

<https://chayn.gitbooks.io/basic-diy-online-privacy/content/en/>

・ 難民と移民

欧州における移民・難民危機が生じて以来、移住する女性と子どもの数は成人男性の数を上回っています。国連難民高等弁務官 (UNHCR) や国連人口基金 (UNFPA)、女性難民委員会 (WRC) は、女性と少女が性的暴力を含む、あらゆる形態の暴力に晒されるリスクを負っていると述べています。多くの女性が、例えばアフガニスタンやシリアなど、迫害やジェンダーに基づく暴力を被った国々から逃れてきます。しかし、それらの国を逃れてもなお、人権侵害に直面し続けているのが実状です。アムネスティ・インターナショナルは、レバノンでのシリア人難民女性に対する性的搾取を非難しました。また、成人男性の同伴なしに国を逃れた女性は、より高いリスクに晒されやすく、保護を受けたり司法へのアクセスが制限されるということも分かっています。受け入れ先や通過点での警備官による性暴力も報告されています。

詳細は：<https://www.amnesty.org/en/documents/mde18/3210/2016/en>

アクション方法

例えば、以下のような方法でアクションを起こしましょう！

● ソーシャル・メディアでのアクション

ツイッターやフェイスブックで投稿する際にハッシュタグを付けることで、同じタグが付いた投稿を一挙に観覧することができます。また、同じハッシュタグが付いた他の投稿との繋がりが生まれ、オンライン上で盛り上がりを見せることができます。「#WWV17」「#youngwomenrise」「#noXcuses」といった YWCA 非暴力週間 2017 の公式ハッシュタグや、女性に対する暴力の問題を取り上げる際には、「#girlsandwomen」「#EndDVNow」「#childmarriage」「#StopVAWG」「#EndVAWG」「#EndFGM」「#EndCyberVAWG」のようなハッシュタグを使うのも良いでしょう。

フェイスブックやツイッターのプロフィールやカバー写真、ニュースレターのバナー、ウェブサイトのロゴに以下の URL から取得できる画像データを用いて、女性に対する暴力を訴えましょう。

http://www.worldywca.org/ywca_news/es/ywca-week-without-violence-16-to-22-october-2017/

● アプローチする対象

女性と少女に対する暴力撤廃という目的を、誰が支援してくれるかを理解することは大切です。以下は、世界 YWCA が認識する支援者となり得るグループです。

・ YWCA 運動

YWCA 運動はアドボカシーや活動を実施する際に、良き支援者になることでしょう。キャンペーンやイベントを企画する際に、あなたがいる地域の YWCA 会員にお気軽にお声掛けください。

【あなたに出来ること】

- ✓ 女性団体やパートナー団体と連携を取り、非暴力週間に参加するように呼びかける。
- ✓ 世界 YWCA ウェブサイトの Members Forum に、ナショナルまたは地域 YWCA における活動を投稿し、協力を呼びかける。

・ **宗教指導者**

社会のあり方に信仰が深く根付いているコミュニティで活動を展開する場合、宗教指導者を巻き込むことはとても大切です。宗教指導者の声の人々の心と意識を変革する力を持っているからです。更に、その権威は意思決定者にまで影響を及ぼすことができます。信仰を持つコミュニティには、そこに所属するメンバーを性暴力やあらゆる暴力的な振る舞いから保護する義務と責任があります。

【あなたに出来ること】

- ✓ 総理大臣や法務大臣、厚生労働大臣へ手紙を送るよう宗教指導者に働きかける。
- ✓ 女性と少女に対する暴力に関する説教をするよう提案する。
- ✓ 祈禱会を持つ。

・ **医学団体**

ナショナルレベルの医学団体と協働することは、厚生労働省や、より広く言えば政府に圧力をかける点から重要です。2010年、世界医師会(WMA)はナショナルレベルの医学団体が「効果的な普遍的な人権の保護を訴える」べきであることを宣言した決議を採択しました。これは政府に対して圧力をかけるために、医学団体が草の根の市民社会から学び、根拠に基づく情報を得ることを意味し、YWCA にとっては、様々なコミュニティで女性が直面している問題を知らせるために、医学団体と連携する良い機会となりました。

【あなたに出来ること】

- ✓ 非暴力週間についてお知らせし、意識向上のために参加してもらう。
- ✓ 患者に対して、暴力を受けた時取るべき正しい知識と、「セーフ・スペース」の存在について教授するよう働きかける。
- ✓ 「セーフ・スペース」での講演をお願いする。

・ **議員**

議員との協働は、女性に対する暴力が政治のアジェンダに乗っていることを確実にするために大切です。女性を保護する法律を整備することは、議員にとって評判を確立すると同時に、政府に同様の立場を取るよう圧力を与えることができます。法律を通すことができなくても、その問題に対する注目を集め、また、その議員は女性に対する暴力反対の立場を表明することにもなります。更に、議員が政府に質問提起することで、特定の問題に対する議論を推進し、人々の意識向上のためにメディアを巻き込む良い機会にもなるでしょう。

【あなたに出来ること】

- ✓ 女性に対する暴力に対して先進的な立場を取る議員を調べる。同様のアジェンダを推進したい他の団体と協力関係を結ぶ。議員と会合を開く。
- ✓ コミュニティで女性が直面する問題を議員に伝える。
- ✓ 法律および法の執行を強化するよう求める。差異を有する他国の法律を紹介する。

- ✓ 議員との会合が開けなかった場合、「議員に対する手紙」のテンプレートを利用し、女性に対する暴力の問題に関心を示した議員にメッセージを送る。その際、同様の問題意識を有する他団体の署名を忘れずに。

- **弁護士連合**

弁護士は通常被害者に対してサポートを提供し、最善の方法を見つけられるような働きをします。

【あなたに出来ること】

- ✓ あなたのコミュニティにある弁護士連合に、非暴力週間について伝える。
- ✓ イベントに招待し、既存の法律を執行したり、新たに法律が採択される際に課題となっている課題について講演をしてもらう。

- **他のキャンペーン**

女性と少女に対する暴力撤廃を目指す他のキャンペーンには、以下のものがあります

- **#NoXcuse**
- **Thursdays in Black**
<http://www.thursdaysinblack.com>
- **One Billion Rising**
<http://www.onebillionrising.org>

非暴力週間の画像データ

非暴力週間にちなんだ画像は世界YWCAのウェブサイトからダウンロードして、お使いいただけます。

http://www.worldywca.org/ywca_news/es/ywca-week-without-violence-16-to-22-october-2017/



98% of the people subjected to sexual exploitation are **women and girls**



WorldYWCA



Up to 50% of sexual assaults are committed **against girls under 16 y.o**




WorldYWCA




130 million girls and women worldwide have experienced **female genital mutilation**



WorldYWCA



64 million girls worldwide are **child brides**



WorldYWCA